

## Final Examination: Management Science (期末試験：経営科学)

instructor: Naoki Watanabe, date: July 21, 2020

以下の設問にすべて解答せよ。答えは日本語または英語で書いてよい。教材などの資料を閲覧してもよいが、他者と相談してはならない。答えは pdf 形式のファイル 1 つにまとめ、メールに添付して、渡邊宛に送付せよ。渡邊のメールアドレスは `naoki50@keio.jp` である。メールの件名は「経営科学後半期末試験+学籍番号+氏名」とせよ。答えにも学籍番号と氏名を記してほしい。10:00 までは答えを提出してはならない。採点基準は次のとおりである。(1) 個人的な経験や思い込みではなく、客観的に把握できる事実 (facts) に基づく記述であること。(2) 論理的飛躍や矛盾がないこと。評価は management science の観点から行われる。採点スケールは、小テストのものと同じで、100%、70%、40%、0% である。つまり、20 points の問題では、20 点、14 点、8 点、0 点で採点する。

### Question 1: 20 points

かつて、業績連動型報酬システムを取り入れようとした日本企業の多くはそれをうまく機能させることができなかった。次の問題のうち、どちらか一つを選択し、回答せよ。解答においては、特定の企業の実務を念頭に記述してもよい。(1800 字以内)

1. 業績連動型報酬システムと人材育成のあり方の整合性の観点から、それらを相互にうまく機能させるにはどのようなことが重要か、あなた自身の考えを述べよ。
2. 一般に、企業は membership 型雇用と job 型雇用をうまく併用できるだろうか。併用可能であれば、それらの運用においてどのような点に配慮すべきか。併用不可能であれば、その根拠は何か。あなたの考えを詳述せよ。

### Question 2: 20 points

情報の収集と伝達、それらに基づく意思決定をすべてひとが行なう場合と人工知能を組み込む場合では、企業の組織形態がどのように異なりうるだろうか。次の問題のうち、どちらか一つを選択し、回答せよ。解答においては、特定の企業の実務を念頭に記述してもよい。(1800 字以内)

1. 日本企業における経営企画部不要論について、そこでの業務を人工知能に任せた場合を想定して、論評せよ。
2. トップ、ミドル、ボトムの 3 層構造を持つ一般的な企業組織において、ミドルの業務のすべてまたは一部を人工知能に任せた場合を想定し、3 層構造がどのように変化するかを根拠を以って予想せよ。

### Question 3: 10 bonus points

次の問題のうち、どれか一つを選択し、回答せよ。(1200字以内)

1. 人材配置アルゴリズム、ネットワーク解析、AIによるデータ解析などを人事に利用する際の注意点について、あなた自身の見解を整理せよ。
2. 静岡の茶業の現状から他業種へのレッスンを汲み取り、それに関するあなたの考えを詳述せよ。
3. エヴァーレーンの生産費用に関する情報開示は、今後、どの産業では広まる可能性があるだろうか。ファーストリテイリングが運営するSPA型ブランドであるユニクロの業態と比較して、あなたの考えを述べよ。